

3 大腸がんリスク検査 便検査 (ネイチャー・サイエンス誌で発表された新しい検査)

大腸がんの要因となる生活習慣、思い当たりませんか？

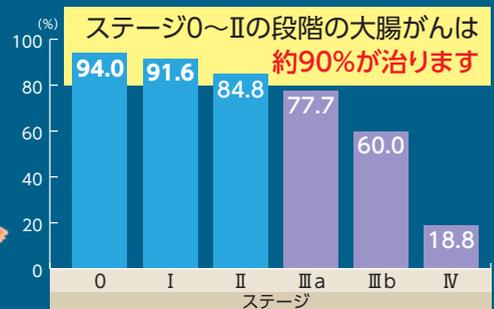


「早期発見」で治る確率の高い「大腸がん」

大腸がんは多くの方がかかる病気ですが、早期の段階で見つけることができれば、ほとんどが治ります。



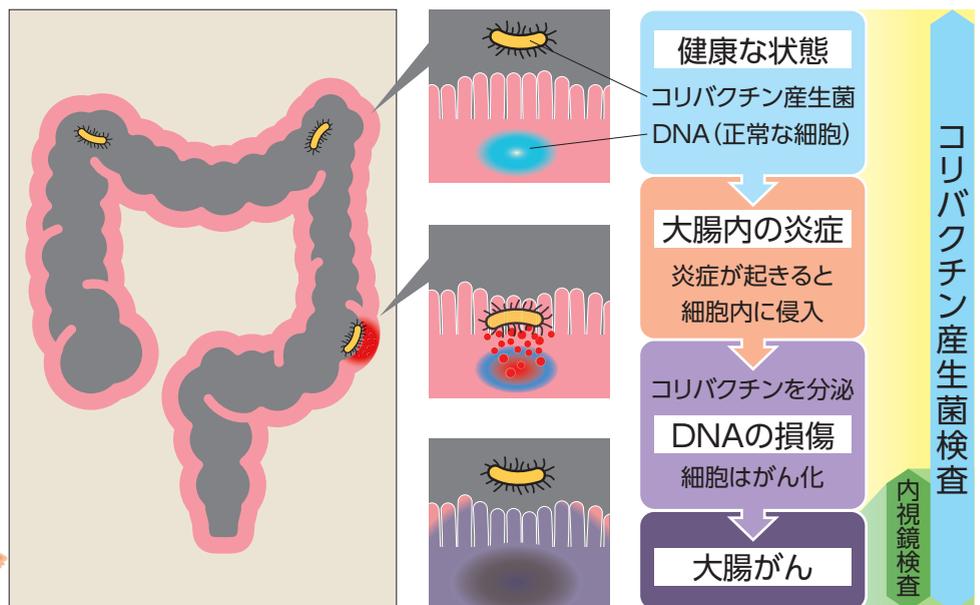
■大腸がんのステージ別5年生存率



[大腸癌研究会・全国登録2000～20004年症例]を基に作成

早期発見・将来の危険回避に有用な「コリバクチン産生菌検査」

発がん物質「コリバクチン」を分泌する大腸菌が存在します。例えるなら「大腸のピロリ菌」のようなものです。



大腸がん患者の約70%がコリバクチン産生菌を保有していること(陽性者)が明らかになっております。コリバクチンは大腸内で炎症が起きるとDNAの損傷をおこし、細胞はがん化していきます。コリバクチンが大腸がんの一因であることから、**がんの早期発見**や**将来大腸がんになるリスク**を見つけることができます。

※コリバクチン産生菌以外の原因で大腸がんになる可能性もあります